

	セミの羽化を間近で観察できる 「セミの羽化を見る夕べ」を開催
と き	8月1日(土)午後7時~9時
と ころ	花とみどりの相談所(光が丘5-2-6 練馬区立四季の香公園内)とその周辺
<p>8月1日(土)、花とみどりの相談所(光が丘5丁目)とその周辺で「セミの羽化を見る夕べ」を開催します。毎回、応募が殺到する人気イベントです。セミの羽化を観察することで、子どもたちに、自然の大切さを実感してもらうことをねらいとしています。運営は一般財団法人練馬みどりの機構(代表理事 園部俊介)</p> <p>当日は、小学生以下の子どもと保護者15組が参加する予定です(募集は終了しています)。緑被率が25.4%と23区で最大を誇る練馬区には、昆虫も多く生息しています。セミが羽化するのは太陽が沈んだ夜。当日は、室内での講義の後、屋外へ移動し、参加者自らがセミの幼虫を見付け、羽化を観察する予定です。</p>	

【開催概要】

講義：セミの種類ごとの鳴き声の違いや、セミの羽化の段階について説明(約30分)

観察：講師がガイドしながら、セミの羽化の様子を観察

講師：練馬みどりの機構会員/矢崎康彦ほか

企画：一般財団法人 練馬みどりの機構



【セミの羽化の様子(昨年の同事業で撮影)】

【観察会の内容(予定)】

室内での講義が終わると、公園はかなり暗くなっています。目が暗さに慣れてくると、穴から出てきたばかりのセミの幼虫が、羽化するための木を探して歩き回っている様子や、周辺の木の枝に、たくさんの幼虫が動いている様子を見ることができます。

「こっちにもいるよ!」「あの木にたくさんいる!」など、子どもたちから歓声が上がることでしょう。

その後、セミは少しずつ殻から体を出して、羽化していきます。

細い枝先に取りついた茶色いセミの幼虫が、ゆっくりと白い体を出す姿は、大人も魅了されるほど神秘的です。



【穴から出た幼虫(昨年の同事業で撮影)】

【練馬みどりの機構について】(豊玉北5-29-8 練馬センタービル5階/代表理事 園部俊介)

一般財団法人 練馬みどりの機構は、屋敷林や雑木林・農地などの、練馬らしいみどりを媒介とした地域コミュニティの形成を目指して平成21年に設立されました。

活動目的...みどりの情報ネットワークをつくり、区民・区内事業者と練馬区の三者の協働により、区内のみどりの保護と保全、育成および活用並びに新たなみどりの創造に寄与する。

【問い合わせ】(一財)練馬みどりの機構 電話03-5999-9577